

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 49 2002年6月1日発行

『探したら、きっと見つかる』

文学部長 岸 チズ子

図書館前の広場に、夏空とオレンジ色のノウゼンカズラが映える季節が近づいた。気が付いておられるだろうか。図書館の建物が、表題のような誘いの言葉を発し続けているのを。

図書館正面を眺めると、玄関のひさしのすぐ上、建物の真ん中あたりに一本の帯が走り、その帯の上にちいさな円形の装飾モチーフ（メダイヨン）が配されている。当節の新しい建築物としては結構めずらしい部類に属するクラシックな装飾なので、10年前の着任早々、近づいてメガネをかけてじっくりと観察した。メダイヨンの数はかぞえると9個あるのだけれど、種類は2種類のみだ。写真をごらんいただきたい。いずれも中央に書物を持つ人物を配し、下に1989の紀年、上部にラテン語の銘文がある。しめた、ラテン語授業の1回目、文字と発音の教材に使える、命令法プラス直説法未来の教材にもなる…と喜んで、カメラ狂で写真上手の朱子学者、佐藤仁先生にかつて撮っていただいたものである。

表題は上の写真の銘文「クアエリテ エト インウェニエーティス」の私訳で、もっと重厚かつ語学教材らしい訳をあげれば「汝ら求めよ、さらば汝らは見出すならん」という1937年『ギリシア・ラテン引用語辞典』の田中秀央訳、穏やかな現代語訳なら「探さない、そうすれば見つかる」（聖書共同訳）など。下の写真の銘文は「ウェーリタース リベラービト ウォース」「真理はあなたたちを自由にする」が共同訳聖書の訳文だ。出典は新約聖書で、いずれも有名なイエスの言葉。上がマタイによる福音書7章7節。山上の垂訓のところ、「求めよ、さらば与えられん」の次にくる。下がヨハネによる福音書8章32節。

出典からすれば神や信仰が問題なのだけれど、我が国で唯一のさきの『引用語辞典』には、出典は示されていない。我が国では宗教ぬきの、ただのラテン語名句と考えて一向にさしつかえないのだ。図像の方は青年2人。卷子本を、日本とはちがって縦にひろげながら見ている裸ではだしの、したがってもしかしたら奴隷身分の若者。装丁された冊子本を胸に抱いてあこがれを込めて遠くを見やる若者。彼らの時代の情報源は手書きの本だけだったろう。かれらはしかし、かれらなりに貴重な情報源への誘いかけを、一生懸命、風雨にさらされながら続けている。今や、図書だけではない情報の集積場となった図書館への誘いなのだ。誘われてあげようではないか。



「図書館で驚いたこと」

経済学部3年 北村俊輔

私が最初に久留米大学の御井図書館を訪れて驚いたことは自習用の机の多さである。私がいままで訪れた図書館の中でも考えられない程の量の自習用の机があった。市民図書館で勉強しようとしてもきちんとした自習用の机が置いてあるところは少ないであろう。酷いところでは、私の地元の市民図書館なのだが、「図書館では自習しないでください。」といった張り紙が貼ってある図書館もある。また、市民図書館で仮眠のつもりでついソファでうとうと寝てしまったときに図書館員に起こされたことがあった。久留米大学御井図書館では開館から閉館までずっと仮眠していても起こされない。また、私の高校の図書館と違って開放的な雰囲気があると感じた。私の高校の図書館は壁一面に本が並べであり、本が迫ってくるような印象があったが、久留米大学御井図書館は壁側に書架を置いてあるところは少なく、横縞状に書架が配列されていて狭苦しい印象がない。また、2階は吹き抜け出ている1階のフロア全体を見下ろせるようになっている。そして、天井はガラス張りにしてある所があり、自然光をうまく利用している。自習用の机が置いてある所も天井がガラス張りにしてある所がある。しかし、自然光だけに頼りすぎると少し暗めになり、仮眠するのには最適なのだが、勉強するのにはもうちょっと明るい方がいいなと自習室に行く^{たび}に感じる。

また、久留米大学御井図書館の魅力的なところは新聞・雑誌が充実していることである。私は新聞コーナーをよく利用するのだが、朝日、毎日、読売、日経、西日本新聞など有名な新聞から沖縄タイムズなどローカルな新聞まで幅広く取り寄せている。その中でも私は日刊工業新聞をよく読んでいる。会社に勤めるための心構えがいろいろな会社の社長のインタビューから学ぶことができる。また、この新聞のすごいところは次世代に流行りそうな製品をいち早く紹介しているところである。例えば、耳搔き特集があったときに、耳搔きの先に小型カメラが付いていてモニターを見ながら耳を掃除できるという商品や耳垢を吸い取る掃除機など今流行っている画期的な商品をいち早く紹介していた。また、雑誌コーナーでは知的好奇心を惹くような雑誌が多数揃えてある。

現代は情報化社会といわれテレビのニュース番組やパソコンや携帯電話などの情報端末の発展により、インターネットでニュースを検索すると、だいたいのできごとがわかったりするのでわざわざ図書館まで行って新聞を読む人は少ないが、図書館で新聞を読むといろいろ面白い発見があるのでこれからもなるべく図書館へ通うようにしたい。



次期図書館システムについて

現行の図書館システムは、1997年3月に運用開始して以来5年を経過し、リース契約の期間が満了したのに伴い、本年（2002年）9月に新システムへ移行します。

・次期システムの特徴

－利用者用端末の追加－

OPAC（蔵書検索）用端末は、現在1階のカウンター前にしか置いていないため、2階や地下書庫を利用している時に本を検索しようと思えば、わざわざ1階まで戻って来なければなりません。次期システムではこの点を考慮し、2階や地下書庫にもOPAC用端末を設置します。

インターネットのWebで公開されているデータベースは、学術情報源としての実用的価値が増し、従来の図書館の概念の拡張を迫っています。また、イントラネットは、提供される学内情報が充実するとともに、今後は学生サービスの窓口としての役割を担うことも期待されています。このような理由から、学生の集まりやすい図書館1階にもインターネットに接続できる端末を配置する必要性を感じ、インターネット用端末を新規に追加します。

＜OPAC専用端末＞

- ・1階閲覧室：6台
- ・2階閲覧室：2台
- ・地下1階書庫：1台
- ・地下2階書庫：1台

＜インターネット用端末＞

- ・1階閲覧室：6台（この外に、3階閲覧室からも何台か移設予定）

－機能の強化と追加－

【OPAC（蔵書検索）の機能強化】

現行システムのOPACは、複数の条件を組み合わせた検索を行なおうとすると、結果が返ってくるのが極端に遅くなるという致命的な欠陥があり、これが検索の効率を大きく低下させる要因となっています。次期システムではこの点が改善されるのに加え、諸種の機能強化が図られています。

また、現在御井・医学両図書館で別々に管理しているデータベースを統合しますので、両図書館の蔵書の統合検索が行えるようになります。

現行システムでも、図書については全てOPACで検索できますが、雑誌は最近5年間に受入れたもののしか検索できず、これがOPACの利用価値を半減させる結果となっています。新システムの導入を機に、全所蔵雑誌のデータ作成を行う予定ですので、これにより真の意味で図書館のシステム化が完成することになります。

導入時期は未定ですが、中国語、韓国語等多言語への対応も予定しています。

【ネットワークを活用した利用者サービスの展開】

図書館に出向かなくても、研究室等からネットワークを介して、次のようなサービスを利用できるようになります。

（1）Web経由での図書購入・文献複写依頼、貸出・予約状況の照会

（2）電子メールによる図書整理・文献複写物到着のお知らせ

これらの機能追加により、利用者と図書館との間の双方向のコミュニケーションがネットワーク上で実現できます。

・システム移行期間中の利用者サービス

これから9月にかけてのシステム移行期間中も、利用者の皆様に直接係わるOPACおよび貸出・返却については極力停止せず、通常通り運用する方針ですが、端末増設に伴う電源およびネットワーク工事や端末の入替え作業のため、8月の中旬以降に2～3日間ほど、やむを得ず臨時休館しなければならない日があります。詳細は後日、日程が決まり次第ご案内いたします。

また、8月中は図書の整理作業が全面的に停止しますので、購入依頼された図書が利用可能になるのが遅れますが、速報性が重んじられる新着雑誌については8月中も通常通り受入・配架の処理を行います。

現行システムの課題を克服するとともに、ネットワーク時代に即応した諸種の機能改善が施されている次期図書館システムにご期待下さい。

【平成14年度 御井図書館運営委員紹介】

御井図書館長	福田 殖 教授（文学部）
文学部	狩野 啓子 教授 平岡 蕃 教授 遠山 潤 助教授
法学部	阿部 和光 教授 森 茂樹 助教授
経済学部	宮松 浩憲 教授 清木場 東 教授
商学部	植田 高司 教授 真部 和義 助教授
大学院比較文化研究科	松嶋 道夫 教授（法学部）
大学院心理学研究科	妙木 浩之 助教授（文学部）
健康・スポーツ科学センター	吉田 典子 助教授
外国語教育研究所	岩田 好司 助教授

人 事 異 動

平成14年4月1日付で、下記のとおり異動がありましたのでお知らせします。

	旧	新
横 溝 三 郎	附属図書館事務部次長	退職
樽 見 徹 男	本部事務局企画部 広報室室長	附属図書館事務部 御井図書課課長
諸 永 勝 利	附属図書館事務部 医学図書課課長補佐	附属図書館事務部 御井図書課課長補佐
坂 井 茂	附属図書館事務部 御井図書課係長	医療センター事務室 管理課課長補佐

寄 贈 図 書 （学内関係者）

2001/12/01～2002/04/30受入分

寄贈者氏名	著 者	タ イ ト ル	出 版 社
秋本 耕二	秋本 耕二	技術革新と経済構造	九州大学出版会
保坂恵美子	保坂恵美子	高齢者と女性の福祉社会学	あきみず書房
森本 芳樹	Yuko Morimoto	Los verbos de movimiento	Visor Libros

※敬称略50音順



館 務 報 告

(平成13年6月～平成14年4月)

御井図書館運営委員会

○平成13年6月6日(水)15時～

報告

1. 新任教員希望定期刊行物について
2. 研究室貸出等図書リストの配付について
3. 図書館ニュース6月号(46号)について
4. その他

議題

1. 寄贈図書の受入れ基準について(継続審議事項)
2. 「研究用基本図書」の名称について(継続審議事項)
3. 2002年版購入雑誌について
4. 「知の玉手箱」の原稿募集について
5. その他

○平成13年7月4日(水)15時～

報告

1. 父母の会、父兄会学生用図書費について
2. その他

議題

1. 図書館次期コンピュータシステムについて
2. 平成13年度研究用基本図書、電子図書、学部総記図書及び一般教養図書の選書について
3. 寄贈図書の受入れ基準について(継続審議事項)
4. 文書のデジタル化について
5. その他

○平成13年9月5日(水)15時～

報告

1. 次期図書館システムについて
2. 研究室貸出の製本雑誌返却について
3. その他

議題

1. 2002年版大学院比較文化研究科定期刊行物について
2. 平成13年度学科充実図書及びバックナンバーの追加募集について
3. 研究室貸出図書の一時利用について
4. 寄贈図書の受入れ基準について(継続審議事項)
5. 「知の玉手箱」の原稿募集について
6. その他

○平成13年10月3日(水)15時～

報告

1. 次期図書館コンピュータシステムについて
2. その他

議題

1. 研究室貸出図書の一時利用について
2. 学生一人当たりの年間図書貸出数について
3. 図書選書結果のネット上の公開について
4. その他

○平成13年11月7日(水)15時～

報告

1. 2002年版外国雑誌の購入予約について
2. その他

議題

1. 平成14年度私立大学研究設備整備費補助金について
2. 平成14年度学科充実図書及びバックナンバーについて
3. 個人研究費購入製本雑誌の貸出について
4. 授業別推薦図書について
5. 3階閲覧室コンピュータの運用について
6. 寄贈図書の受入れ基準について(継続審議事項)
7. 500号館地下書庫について
8. その他

○平成13年12月12日(水)15時～

報告

1. 平成14年度私立大学研究設備整備費等補助金(特定図書)について
2. 外貨で購入した図書の取扱いについて
3. その他

議題

1. 期間指定図書貸出について
2. 500号館地下書庫について
3. 個人研究費購入製本雑誌の貸出について
4. 授業別推薦図書について
5. 寄贈図書の受入れ基準について
6. その他

○平成14年2月6日(水)15時～

報告

1. 「知の玉手箱」について
2. B.D.S(図書盗難防止装置)のペースメーカーへの影響について
3. その他

議題

1. 図書の除籍について
2. 500号館地下書庫について
3. 寄贈図書の受入れ基準について
4. その他

○平成14年3月6日(水)15時～

報告

1. 平成14年度学科充実図書・電子図書、バックナンバー、学生用図書の購入希望調査結果について
2. 500号館地下書庫について
3. その他

議題

1. 授業別推薦図書について
2. 寄贈図書の受入れ基準について
3. 平成14年度父母の会、父兄会の図書予算について
4. その他

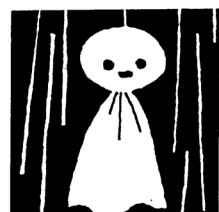
○平成14年4月3日(水)15時～

報告

1. 平成14年度御井図書館の図書予算について
2. その他

議題

1. 御井図書館運営委員会の開催曜日及び時間について
2. 寄贈図書の受入れ基準について
3. 「知の玉手箱」編集委員の選出について
4. 「御井図書館ニュース」巻頭言の執筆依頼者について
5. その他



図書館利用状況（2001年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		27	28	30	30	30	28	30	28	27	28	27	30	343
入館者数	前年同期比	1,380	2,156	186	2,493	336	699	3,262	684	-883	-4,437	876	1,843	8,595
	学内者	17,769	25,295	25,358	41,115	10,453	15,882	24,101	21,861	20,628	21,822	9,583	7,798	241,665
	前年同期比	31	61	-3	4	-68	-14	136	225	195	48	153	42	810
	その他学外者	119	146	112	119	98	98	217	283	256	110	237	157	1,952
地域住民登録者数	前年同期比	-11	9	-11	6	-3	1	5	6	12	4	4	6	28
		31	20	13	20	14	14	12	14	15	10	11	12	186
貸出冊数 (学生)	前年同期比	190	408	167	-29	23	160	469	440	-327	-620	194	214	1,289
	全体	1,128	2,440	2,439	5,162	1,077	1,452	2,240	2,569	2,901	3,305	677	477	25,867
	前年同期比	0	77	6	-24	6	-35	50	68	-209	-111	5	0	-167
	内、夜間	216	486	545	959	34	165	501	524	432	664	10	3	4,539
	前年同期比	19	33	58	-71	18	39	26	-70	-24	-26	55	52	109
貸出冊数 (教職員)	内、土・日曜	65	157	166	451	121	127	153	95	217	320	140	90	2,102
	前年同期比	80	-55	20	14	20	-57	-101	29	44	13	-45	16	-22
	全体	301	183	216	277	180	173	197	226	157	224	177	215	2,526
	前年同期比	56	-20	11	-33	-9	0	-75	29	16	29	-22	-3	-21
	内、夜間	104	57	66	67	3	40	64	65	35	69	1	1	572
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	-23	2	-11	-26	-2	-12	-6	-18	2	12	12	14	-56
	内、土・日曜	5	6	5	34	13	17	12	8	7	24	44	31	206
	前年同期比	2	27	7	5	-28	-37	54	31	16	0	27	65	169
	全体	52	96	85	31	77	72	117	110	88	1	76	121	926
	前年同期比	5	23	-9	3	3	-19	10	26	3	0	0	-3	42
AVライブラリー 利用件数	内、夜間	10	36	24	8	5	0	23	33	18	0	0	2	159
	前年同期比	-24	17	3	-15	-14	-6	9	-5	0	0	-5	48	8
	内、土・日曜	5	38	36	0	29	33	43	36	30	0	24	58	332
	前年同期比	-17	-5	-5	1	-3	0	7	-7	12	3	-2	0	-16
	学生	7	11	8	8	2	5	15	10	13	4	2	0	85
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	-1	25	-4	1	0	-2	8	3	6	5	0	-3	38
	教職員	4	28	7	3	0	4	8	8	7	6	3	0	78
	前年同期比	0	0	-10	0	-2	1	0	0	0	0	0	2	-9
	その他学外者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
	前年同期比	-15	25	-37	14	36	11	3	-20	-7	47	11	31	99
相互利用 (現物貸借) 申込件数	学生	11	83	28	55	68	31	45	45	44	50	27	52	539
	前年同期比	2	28	-2	7	17	50	19	-9	-16	21	20	4	141
	教職員	37	34	9	21	64	67	24	9	4	27	45	28	369
	前年同期比	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	その他学外者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	-1	-3	-7	6	0	10	11	-5	-8	-3	0	1	1
	学生	3	10	2	6	6	15	19	3	3	6	3	4	80
	前年同期比	6	9	1	-1	1	8	-8	-8	1	2	7	0	18
	教職員	7	12	6	3	15	19	6	2	8	3	10	4	95
	前年同期比	0	0	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-3
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〈貸出冊数についての注記〉

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、17:00～20:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月11日、8月1日～9月12日、12月25日～1月7日、2月1日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月4日～31日、1月4日～1月31日の期間は停止している。

編集・発行 久留米大学御井図書館
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL (0942) 44-4015
FAX (0942) 43-0348
<http://lib.mii.kurume-u.ac.jp/>